

# 松葉 広報

第173号

(2025〔令和8〕年度 第1号)

発行 自治会法人松葉町自治会  
編集 松葉町自治会広報部  
題字 石井志治氏  
印刷所 プリンティング山口

会員世帯数 657  
賛助会員数 21  
(7月1日現在)



## 楽しく自治会活動を続ける ことができる松葉町を目指して



会長 松本 哲也

令和8年度を迎え、松葉町自治会会長としてごあいさつ申し上げます。日頃より自治会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度は「楽しく自治会活動を続けること」を大切にまいります。自治会という堅い印象を持たれがちですが、無理をせず、それぞれができる範囲で関わりながら、気軽に参加できる雰囲気づくりを心がけます。「楽しいから続く」そんな活動を皆さまと一緒に育てていければと考えています。また、ひまわり公園を松葉町の交流の拠点として、より一層活用していきたいと思えます。季節ごとの花壇整備や朝の公園清掃などを通じ、散歩のついでに気軽に参加していただけるような形にし、自然と人が集まり、つながりが広がる場にしていきたいと考えております。さらに、育成会や子ども会がなくなつた今だからこそ、地域の子どもたちに積極的に行事へ参加してもらえ工夫が必要だと感じています。「楽しい」と思えることが参加のきっかけになります。遊びの要素を取り入れたり、子どもたち自身が関わられる企画を取り入れたりしながら、参加しやすい環境づくりを進めてまいります。地域全体で子どもたちを見守り、その成長を支えていける松葉町でありたいと願っています。

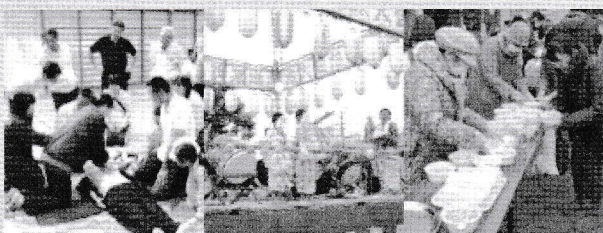
松葉町では、近年増えている自然災害や防犯への関心の高まりを受け、地域みんなで安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。松葉町自治会では防災訓練を行い、避難の流れや身の守り方を確認しながら、いざという時に落ち着いて行動できるよう備えています。また、防犯パトロールや見守り活動を通して、日頃から声をかけ合い、安心できる地域づくりを進めています。災害が発生した際には、自治会が中心となり情報を共有できる体制を整えたいと考えております。日頃のつながりが、いざという時の安心につながります。これからも松葉町は、みんなで支え合う、あたたかい松葉町をさらに世代を超えて、つながりのある、誰もが安心して暮らせる松葉町を目指して取り組んでまいります。引き続き、皆さまのご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 令和8年度 本部役員

- 会長 長松本哲也(7組)
- 副会長 長清水陽子(11組)
- 松本頼和(4組)
- 総務部長 岩佐 健(11組)
- 計三井聖子(22組)
- 井上奈保子(1組)
- 監事 北村一美(21組)
- 片平正美(23組)
- 広報部長 宇田川功実(20組)
- 慶一(3組)
- 体育部長 松本栄策(17組)
- 文化部長 前田宗幸(5組)
- 情報宣伝部長 天明文恒(14組)
- 福祉厚生部長 清水信夫(16組)
- 防犯防災部長 岡本和彦(6組)
- 環境整備部長 郡家 和之(3組)
- 会館管理部長

### 令和8年度 主な行事

- 5月24日(日) 春の町内清掃
- 6月7日(日) 春の松葉町自主防災訓練
- 8月1日(土) 納涼大会1日目
- 8月2日(日) 納涼大会2日目
- 9月6日(日) 秋の松葉町自主防災訓練
- 9月21日(月) 敬老事業
- 10月4日(日) レクリエーション
- 11月3日(火) 陽光台地区住民の集い
- 11月9日(日) 秋の町内清掃
- 12月26日(土) 年末警戒パトロール
- 12月27日(日) 年末警戒パトロール
- 1月10日(日) どんど焼き
- 3月21日(日) 定期総会



# 令和7年度 松葉町自治会定期総会

総務部長 岩佐 健

3月22日、陽光台小学校体育館にて「令和7年度松葉町自治会定期総会」を開催いたしました。構成代議員138名中、125名(委任状17名含む)のご参加をいただき、定足数を満たして本総会は成立いたしました。総会では、令和7年度の事業および決算・監査報告をはじめ、施行細則の一部改正、令和8年度の新役員選出、事業計画と予算、自治会館改修に伴う基金取り崩しに関する全8議案が審議され、

すべて賛成多数で承認されました。審議においては、代議員の皆様からの事前質問への回答や当日の質疑応答を交え、会費の使途や活動実態について報告を行いました。また、令和8年度の事業計画では、役員・組長の負担軽減策や、自治会館へのWi-Fi導入などのデジタル化(DX化)の推進をご説明いたしました。

本年度は、松本新会長をはじめとする新体制のもと、「防犯・防災の強化」「住みよい街づくり」「会員同士の親睦」を三本柱として活動を展開いたします。持続可能な自治会運営と、皆様に参加しやすい環境づくりに努めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年度は、松本新会長をはじめとする新体制のもと、「防犯・防災の強化」「住みよい街づくり」「会員同士の親睦」を三本柱として活動を展開いたします。持続可能な自治会運営と、皆様に参加しやすい環境づくりに努めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

松葉町自治会館にWi-Fiを導入しました。これにより、自治会館を日常の活動だけでなく、いざという時にも役立つ「地域の情報連絡拠点」として活用しやすくなります。

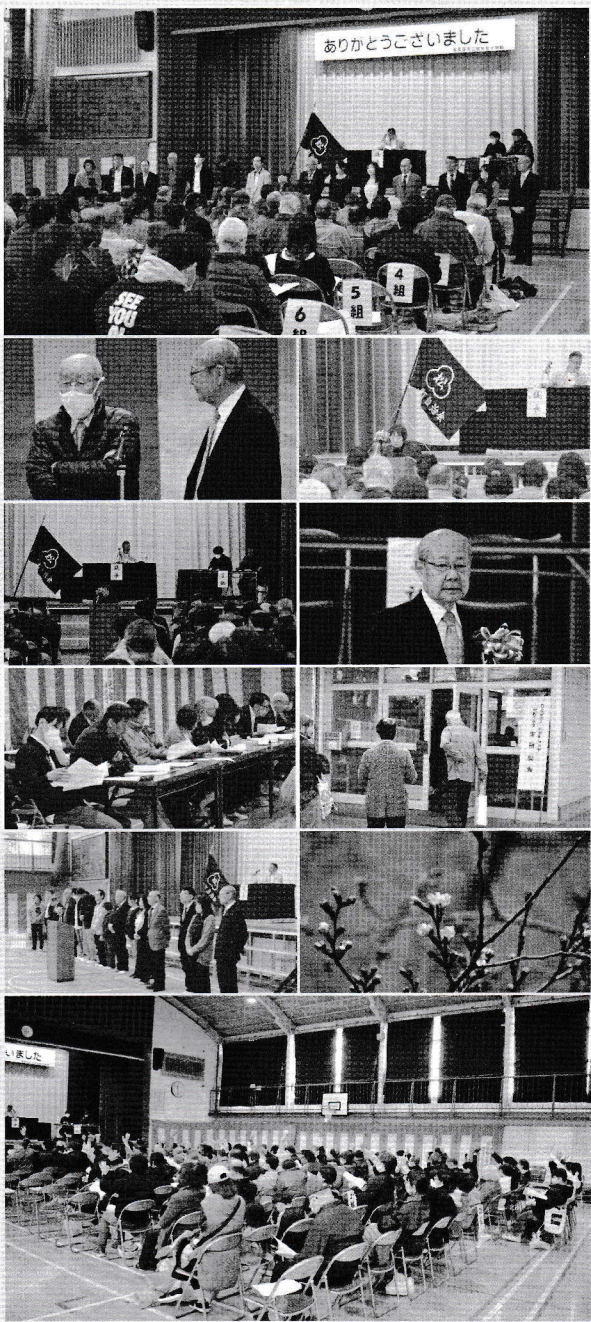
災害時には、携帯回線が混雑してつながりにくくなる場合があります。そのような時、自治会館に固定回線とWi-Fiがあることで、行政や防災情報の確認、安否確認、連絡手段の確保などに役立つ可能性があります。もちろん、停電や回線障害などで利用できない場合もありますが、通信手段を一つ増やしておくことには大きな意味があります。

# 自治会館に Wi-Fi導入

総務部長 岩佐 健

松葉町自治会館にWi-Fiを導入しました。これにより、自治会館を日常の活動だけでなく、いざという時にも役立つ「地域の情報連絡拠点」として活用しやすくなります。

自治会館をより使いやすくし、平常時の自治会活動の効率化、会館利用の幅の広がり、そして災害時の連絡力・地域防災力の向上につながる基盤整備です。なお、本Wi-Fiは自治会館利用者向けのサービスです。SSID・パスワードは各会議室に掲示してありますので、会館利用時にご確認のうえご利用ください。会館利用時以外の使用、SSID・パスワードの無断共有、不正利用、迷惑行為、違法行為は固くお断りします。ご不明な点は総務部長までお知らせください。



「令和7年度松葉町自治会定期総会」を開催いたしました。構成代議員138名中、125名(委任状17名含む)のご参加をいただき、定足数を満たして本総会は成立いたしました。総会では、令和7年度の事業および決算・監査報告をはじめ、施行細則の一部改正、令和8年度の新役員選出、事業計画と予算、自治会館改修に伴う基金取り崩しに関する全8議案が審議され、

すべて賛成多数で承認されました。審議においては、代議員の皆様からの事前質問への回答や当日の質疑応答を交え、会費の使途や活動実態について報告を行いました。また、令和8年度の事業計画では、役員・組長の負担軽減策や、自治会館へのWi-Fi導入などのデジタル化(DX化)の推進をご説明いたしました。

本年度は、松本新会長をはじめとする新体制のもと、「防犯・防災の強化」「住みよい街づくり」「会員同士の親睦」を三本柱として活動を展開いたします。持続可能な自治会運営と、皆様に参加しやすい環境づくりに努めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

自治会館をより使いやすくし、平常時の自治会活動の効率化、会館利用の幅の広がり、そして災害時の連絡力・地域防災力の向上につながる基盤整備です。なお、本Wi-Fiは自治会館利用者向けのサービスです。SSID・パスワードは各会議室に掲示してありますので、会館利用時にご確認のうえご利用ください。会館利用時以外の使用、SSID・パスワードの無断共有、不正利用、迷惑行為、違法行為は固くお断りします。ご不明な点は総務部長までお知らせください。

営を効率化するための基盤にもなり得ます。普段から使い慣れていること、必要時にすぐ活用できること、大きな利点です。さらに、



# 春の松葉町 自主防災訓練

防犯防災部長 清水信夫

6月7日、松葉町自主防災訓練を実施しました。本訓練は、午前9時に震度

6の首都直下型地震が発生したとの想定のもと行われ、住民一人ひとりが自らの身を守る行動を確認する機会となりました。参加者はまず自身の安全を確保した後、電気やガスなど火元の点検を行い、安否確認のための黄色い小旗を掲出。その後、避難場所である陽光台小学校までの自主移動訓練を実施しました。

松葉町自主防災訓練は、相模原市地域防災計画に基づく「自分たちの町は自分たちで守る」という理念のもと、住

民一人ひとりの防災意識を高め、災害時に円滑な行動が取れるよう備えることを目的に実施されています。私たちの命や安全は、個人の備えだけでなく、地域のつながりによって大きく左右されます。そのため、日頃からの住民同士の関係づくりが重要となります。

講演要旨「住民のあり方、街のあり方、災害を通じて見えてくるもの」災害時の被害の規模や復興のスピードは、インフラや行政の支援（公助）以上に、平時からの「住民同士の繋がり」や「街のコミュニティのあり方」に大きく左右されます。本講演では、以下の3つの事例からその重要性を解説しています。

①1995年 米国・シカゴの熱波。都市機能が崩壊した熱波において、隣接する2つの町で死亡率に10倍の差が出ました。犯罪が多発し住民が孤立していた北側の町に対し、平時から住民の交流や自治・環境保全活動が活発で、商店に集まり助け合うことができた南側の町は被害が大幅に抑えられました。

②1923年 関東大震災。火災で甚大な被害を受けた地域において、富裕層の住む「山の手」よりも、被害が大きかった労働者の街「下町」の方が復興が早いという結果が出ました。その背景には、長屋暮らしや労働運動を通じて培われた、住民同士の強い共同体意識と結束力がありました。



講演をして頂いた熊谷由加さん

会長の挨拶

講演会会場 松葉町

③1995年 阪神・淡路大震災。条件が似た隣接する2つの地区で対応に大きな差が出ました。初期消火や住民による高度な自治（公平な物資分配など）に成功した真野地区には、過去の深刻な公害問題に対して、企業と敵対せず対話と協働で解決を目指してきた長年の歴史がありました。

災害対策において、インフラ整備や行政の公助はもちろん重要ですが、それらが真に機能するための最も基礎となる土台は、平時からの「住民のあり方」と「コミュニティの繋がり」に他なりません。災害時には、その地域の力が試され、「まちの本当の姿」が見えてきます。平時からの活動や関係づくりが、非常時の柔軟な対応力につながることを改めて実感する機会となりました。今回の講演を通じて、地域で支え合うことの大切さを再認識しました。今後も地域全体で防災意識を高め、安心して暮らせる町づくりを進めていきます。

「まちの本当の姿」が見えてきます。平時からの活動や関係づくりが、非常時の柔軟な対応力につながることを改めて実感する機会となりました。今回の講演を通じて、地域で支え合うことの大切さを再認識しました。今後も地域全体で防災意識を高め、安心して暮らせる町づくりを進めていきます。

## 編集後記

広報松葉も令和8年の第1号を発行できました。自治会活動に対しまして、会員の皆さまの温かいご理解とご協力を本当にありがとうございます。地域行事への参加、清掃活動や防災への取り組みなど、皆さま一人ひとりのお力添えに支えられて、松葉町の暮らしが成り立っていることを、改めて実感した年でした。自治会活動は、役員だけで成り立つものではなく、改めさせていただきます。「少し手伝える」「こんな工夫をしてみたい」という声が、地域を前へ進める大きな力になります。広報紙もまた、皆さまの声を伝える大切な役割を担っています。ご意見、ご要望、取り上げてほしい話題などがありましたら、ぜひお寄せください。皆さまの声を反映しながら、より読みやすく、親しみやすい広報を目指してまいります。広報部長 宇田川

## 担ぎ手募集のお知らせ 松葉陸會

今年も地域の夏を彩る納涼大会の季節が近づいてまいりました。松葉陸會では、この伝統ある行事をもとに盛り上げてくださるお神輿の担ぎ手を広く募集しております。

お神輿は、地域の結びつきや活気を象徴する大切な存在です。威勢の良い掛け声とともに街を練り歩くその姿は、見る人にも参加する人にも忘れられない夏の思い出をもたらします。初めての方でも安心してご参加いただけます。経験者が丁寧にサポートいたしますので、どなたでもお気軽にご参加ください。

当日はお揃いの法被をご用意し、参加者全員で体となつて祭りを盛り上げます。地域の仲間とともに汗を流し、笑顔あふれる時間を共有することで、新たなつながりや絆も生まれることですので、ご家族やご友人同士でのご参加も大歓迎です。

開催日は8月1日（土）および2日（日）の2日間です。夏のひとときを、ぜひ私たちと一緒ににぎやかに過ごしませんか。地域の力を合わせて、活気あふれるお祭りをつくり上げましょう。

また、松葉陸會では新規会員も随時募集しております。地域活動や伝統行事に興味のある方、この機会にぜひご参加ください。担ぎ手は当日飛び込み参加もOKです。または入会をご希望の方は、17組・青木（連絡先：09011208326）までお気軽にご連絡ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

